

学部共通科目

本学重点科目となるファンデーション科目を土台として、幅広い知識を共通教養で学び、学習意欲の高い学生は美術教養へ進む積み上げ式のカリキュラムとしています。

ファンデーション科目

「女子美基礎講座」「女子美の教養」を柱として開設しています。「女子美基礎講座」では、大学での学びに必要なスキルを身に付けると同時に、本学が輩出してきた卒業生（および在学学生）の足跡を確認し、学生の未来へと繋げていくことで、本学の理念、女子美スピリッツを浸透、継承できる内容です。「女子美の教養」では、社会人、アーティストとして将来を歩んでいく際に、教養教育の学びが自身の専攻分野、興味・関心とどのように結びついて社会に活かされるのかを学びます。

共通教養

・グローバルな多様性社会に必要な知識を身につける【多様性の理解】

的確な情報収集や分析、理論的思考・判断能力を養い、現代社会において必要な知識を得て、理解を深めるカリキュラムとなっています。次の3つの科目群から成り立っています。

- ジェンダー研究 ●国際社会と日本・文化 ●自然環境と人間

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

多様性が尊重される社会において、ジェンダー、国際社会と日本、自然環境と人間、芸術について広く学び自己理解をすることで、その知識・理解を実地に関連付けることのできる幅広い教養を養う科目を配置する。

・美大生としての基礎力・創造力を養う【創造的思考力】

制作や研究に主体的、計画的に取り組む関心・意欲・態度を養います。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

美学、美術史、色彩や図学など、芸術分野における基礎力、芸術的感性を培い、学術・創作研究へ発展・応用させることのできる創造的思考力・判断力を養う科目を配置する。

・アートを社会と生活に生かす【実践力・マネジメント力】

生涯を通して学ぶ創作、研究（持続可能なアートスキル）への関心・意欲・態度を養い、地域社会への理解を深めるカリキュラムです。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

芸術的理論と技法を活用し、自分の未来像（キャリア）をデザインし、生涯にわたり地域社会の持続的発展に貢献できる主体的な実践力、マネジメント力、協働する力を養う科目を配置する。

・語学力を高め世界で活躍する【表現・コミュニケーション力】

創作や考えを伝える技能・表現・コミュニケーションスキルを身につけます。女子美らしいアートに関連した英語教育の充実・実践のため、Joshibi Foundation → Joshibi Global → Joshibi Art Englishと、美術英語を学びます。その他、English Conversationとしてコミュニケーション能力を身につけ、English in the Film and Performing Artsとして、美大生が必要とする美術や映像などの芸術全般に関する英語やプレゼンテーションを学びます。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

グローバル社会において多様な他者の文化的背景を理解し、傾聴の姿勢と共に自身の考えを的確に伝えるコミュニケーションスキルを用いて世界で活躍できる能力を養う科目を配置する。

美術教養

教養とアートを結び付けた演習形式の科目です。